

小学六年

国語

解答と解説

問七			問五	問一	問八	問四	問一
常	め	自	イ	ウ	わ	人	i
生	に	分	問六	問二	ず	間	エ
活	し	が	ア	エ	ら	を	ii
を	て	輝	問三	問三	わ	楽	オ
支	い	く	エ	エ	し	問五	iii
え	る	た	問四	問四	い	ア	ア
て	仕	め	1	ウ	学	問六	問二
い	事	で	2	オ	校	⑤	な
る	が	は	3	問九	ウ	ア	に
と	、	な	イ	問十	問七	⑧	し
い	人	く	問四	エ	イ	エ	ろ
う	び	生	問五	問一	問三	問七	問三
意	と	活	問六	問二	問四	問七	エ
義	の	の	問七	問三	問五	問七	問三
。	日	た	問八	問四	問六	問七	問三
			問九	問五	問七	問七	問三
			問十	問六	問八	問七	問三
			問十一	問七	問九	問七	問三
			問十二	問八	問十	問七	問三
			問十三	問九	問十一	問七	問三
			問十四	問十	問十二	問七	問三
			問十五	問十一	問十三	問七	問三
			問十六	問十二	問十四	問七	問三
			問十七	問十三	問十五	問七	問三
			問十八	問十四	問十六	問七	問三
			問十九	問十五	問十七	問七	問三
			問二十	問十六	問十八	問七	問三
			問二十一	問十七	問十九	問七	問三
			問二十二	問十八	問二十	問七	問三
			問二十三	問十九	問二十一	問七	問三
			問二十四	問二十	問二十二	問七	問三
			問二十五	問二十一	問二十三	問七	問三
			問二十六	問二十二	問二十四	問七	問三
			問二十七	問二十三	問二十五	問七	問三
			問二十八	問二十四	問二十六	問七	問三
			問二十九	問二十五	問二十七	問七	問三
			問三十	問二十六	問二十八	問七	問三
			問三十一	問二十七	問二十九	問七	問三
			問三十二	問二十八	問三十	問七	問三
			問三十三	問二十九	問三十一	問七	問三
			問三十四	問三十	問三十二	問七	問三
			問三十五	問三十一	問三十三	問七	問三
			問三十六	問三十二	問三十四	問七	問三
			問三十七	問三十三	問三十五	問七	問三
			問三十八	問三十四	問三十六	問七	問三
			問三十九	問三十五	問三十七	問七	問三
			問四十	問三十六	問三十八	問七	問三
			問四十一	問三十七	問三十九	問七	問三
			問四十二	問三十八	問四十	問七	問三
			問四十三	問三十九	問四十一	問七	問三
			問四十四	問四十	問四十二	問七	問三
			問四十五	問四十一	問四十三	問七	問三

(配点)

①〔問一〕各2点、〔問六〕各3点、他各5点
 ②〔問四〕各2点、〔問七〕7点、他各5点
 ③④⑤各2点

計150点

		5			4			3		
⑥	憲 法	①	雑 穀	①	短 縮	①	イ	問八	仕 事	
	65		60		55		50		-----	
⑦	基 準	②	功 績	②	完 敗	②	エ	問九	に も	
	66		61		56		51		-----	
⑧	節 操	③	枝 道	③	悪 化	③	オ	問十	自 ウ	
	67		62		57		52		-----	46
⑨	補	④	財 宝	④	単 独	④	ア	問十一	イ	
	68		63		58		53		-----	47
⑩	効	⑤	密 接	⑤	健 康	⑤	ウ		ウ	
	69		64		59		54		-----	48
							57			49

【解説】

1 藤野恵美の「雲をつかむ少女」から出題しました。

家族と過ごす時間が好きで、学校では同級生といっしょに過ごす時間をなかなか楽しめないでいる楓が、父親といっしょに動物園に出かけ、自分が事前に持っていた「動物園」のイメージと違う側面に気づいていく場面です。

問一 A2 知識 関係づけ

それぞれ次のことばが入ります。

i 「わずらわしい学校」「だれにも邪魔されずに」などから、開放されたような感覚が読み取れます。したがって「のびのびと」が入ります。

ii 直前に「目を」とあることから、目に関係する表現が入ることがわかります。思いがけない言葉を聞いておどろき、まばたきをしている様子です。したがって、「ばちくりと」が入ります。

iii 直後に「ほほえんだ」があることが最大のヒントです。「にっこりと」が入ります。

問二 B1 置換

「……」の部分に隠されている楓の気持ちは「恥ずかしい」あたりのマイナス表現が適当でしょう。したがって、楓が親と一緒に出かけることをプラスに感じている表現がふさわしいこととなります。これをもとに探していくと、——線⑦の直後に「家族で過ごすほうが楽しい」という表現が見つかります。

問三 B1 具体・抽象 比較

実際に楓がインターネットで情報収集をしている場面では「動物園 嫌い」「動物園 ストレス」という言葉を入力しています。ここでは楓の目的は語られていますから、別の場所での作文のことに触れていて、なおかつ楓の目的や検索の仕方についても書かれている部分を探します。——線⑩の七行前に「動物園に否定的な内容にしようと思っていた」「自分の主張に合う情報ばかりを求めていた」という内容が書かれています。

問四 B1 具体・抽象

説明した文を読むと、動物園がどのような立場に立って、動物たちに自然界からかけ離れた環境で暮らすことを強いているのかを説明できれば良いことが分かります。「エゴ」という言葉の意味と合わせて考えると、ここには「人間にとって都合の良いような」というニュアンスの言葉が入ることが分かります。——線⑩の直前で楓が動物園について「動物園なんて人間のエゴだもの」と発言し、それに対して父親が「たしかに、動物園は人間を楽しませる『娯楽』のための施設ではある」と同意しています。

問五 B1 具体・抽象 比較

——線④の二行前に「楓は助けを求めるようにして」とあることに注目します。本気かどうか半信半疑の状態ではあるものの、楓は父親の態度から本気でサバンナに行くつもりなのではないかと思いついています。母親に求めた「助け」とは、それを打ち消す方向で自分と力を合わせてほしいという意味だと考えられます。したがって、アが正解となります。イ「代わりに

行くと言ってくれるのではないか」、ウ「本当に行っているのかどうか」、エ「計画の良し悪しを判断してもらおう」がそれぞれ誤っています。

問六 **A2** 知識 関係づけ

⑤「動じる」は「ない」とともに用いられて「動じない」の形で、冷静さを失わない様子を示します。「動揺」という言葉もあわせて覚えておきましょう。

⑧「猫なで声」は猫をなでている人の声とも、なでられている猫の声とも言われます。相手のきげんを取るための甘えた声のことです。

問七 **B1** 具体・抽象 比較

直後に「うれしいなあ」「よるこんでいる」という表現があることから、プラスの心情を持つていることが読み取れます。直前の場面では楓が父親の言い出したサファリツアーの話にとうとう折れ、動物園に行くことを了承しています。本文では明示されていませんが、楓が「うまく丸めこまれていたような気がして」と感じていることから考えると、父親は動物園に行くという返事を引き出すためにサファリツアーの話をしただけでなく読み取れます。ア「全面的に認めた」、ウ「友人たちより」、エ「強く望んでいる」がそれぞれ誤っています。

問八 **B1** 理由

「年相応の友達つきあい」は、直後に出てくる「クラスメイト」たちとのやり取りを指しています。クラスメイトたちと過ごす時間をあまり楽しめていないことは、**i**の前の行「わず

らわしい学校」に表れています。

問九 **A2** 知識 関係づけ

父親は楓にネット禁止を言い渡しつつ、自分が見たいと思っているトラの方へずんずんと向かっています。自分の言いたいこと、したいことをしている様子から「意気揚々」が入ります。

問十 **B1** 具体・抽象 比較

この場面で父親が指摘している動物園の役割は、楓が作文に書いたような動物園のマイナスな面ではなく、プラスな面に目を向けたものです。作文で動物園に否定的な情報ばかりを並べた楓に動物園のプラス面を伝えることによって、物事には良い面も悪い面もあるものだということを言おうとしているのだと考えられます。

2 榎本博明の「自己実現という罫」から出題しました。

自分が輝くために仕事をやるのだ、という思い込みを現代人が持たされている理由と実態を指摘する文章です。

問一 **B1** 具体・抽象 比較

不満の理由として若手が発しているセリフをていねいにおさえます。ひと言でまとめれば「こんなはずじゃなかった」という思いです。これは「自分の能力・個性を活かせる」ことや「仕事が面白い」ことを期待して就職することが原因であると述べられています。

問二 B1 置換 比較

「そうした」という指示語が何を指しているかに注意して考えましょう。——線②と同じ段落で語られているのは、上司や同僚との関係が良好だったり、仕事がうまくこなせていたりする人物からいきなり切り出される転職の話です。したがって、エが正解となります。ア「自分の能力を活かせる場所を常に探している」、イ「引け目を感じている」、ウ「関係がぎくしゃく」がそれぞれ誤っています。

問三 B1 具体・抽象 比較

この後の部分で語られている内容に注目すると、筆者は若者の言う「成長」が具体的なイメージを持っていないことに違和感を感じていることが分かります。そして、その「成長」につながる「仕事で輝く」が、実はあまりメリツトのない考え方ではないかという主張につながっていきます。したがって、エが正解となります。ア「都合よくとらえて楽をしよう」、イ「能力不足をかくそうとしている」、ウ「実態以上に大きな魅力がある」がそれぞれ誤っています。

問四 A2 関係づけ 知識

前後関係に着目し、それぞれのつながり方をおさえながら考えましょう。

- 1 直前で「仕事で輝く」とはいつたいどういうことなのか、という問題提起をしています。これに対して直後では「営業職であれば」と具体例を出してよりくわしい説明が始まっています。したがって「たとえば」が入ります。
- 2 直前には「どんなに眠くてもちゃんと起きて出勤するのは、

生活のためである」と書かれています。また、直後には「生活のために働く運転手や駅員がいなければ、電車を利用する人びとの暮らしは成り立たない」と書かれています。前の内容に後の内容をつけ加える形です。したがって「そして」が入ります。

- 3 直前には政府の思惑として「国民が主役」「国民が尊重されているような気になる」という内容が書かれています。直後にはこれと正反対の内容である「(政府の) 宣伝文句が、多くの国民を苦しめる」という表現があります。したがって「しかし」が入ります。

問五 B1 関係づけ 比較

④ 直前の「特殊な才能に恵まれた人物を別にすると」を参考にとすると、④には「特殊な才能に恵まれたわけではない人」、つまり一般の人に当てはまる内容が入ることが分かります。これを意識して読み進めると、——線⑤の次の段落に「ましてやふつうに働いている人が、『自分は輝いている』と感じることなどほとんどないのではないかと」と、一般の人に關する表現があります。したがって、イが正解となります。ア「必要のある人などいない」、ウ「見合った仕事で輝ければ」、エ「なくなっても構わない」がそれぞれ誤っています。

問六 B1 置換 比較

指示語の指示内容をつかむ問題です。「そうでない」が直接指しているのは「権力を手に入れる過程で志を捨てていない」政治家です。続く部分で「権力が得られずにもがき苦しむ」とあることから、「権力を手に入れた後で志も保持している」の

ではなく、「権力は手に入れておらず、志は保持している」状態を指していることが分かります。したがってアが正解となります。

問七 **B2** 具体・抽象 推論

直前を確認すると「輝いていないからといって、そうした仕事をする人がいなくなってしまうたら、世の中は回っていかない」とあります。「そうした仕事」の指示語をさらにたどると、「生活のためにする」仕事であって、なおかつ「人びとの日常生活を支える」仕事であることが読み取れます。これらの内容を盛りこんでまとめましょう。

※ 設問の指示や字数・文字指定に従っていないものは不正解とします。ただし、誤字脱字が一つの場合は減点1点、二つある場合は減点2点、それ以上は不正解とします。また解答の説明に過不足がある場合は減点2点とします。

問八 **B1** 具体・抽象 関係づけ

筆者は政府の宣伝文句について「国民を苦しめる」とまで表現していますから、当然マイナスの評価をしています。表現そのものが「国民全員が活躍することを強いられる」印象を与えることが大きな原因ですが、それによりどのような人が増えるかを考えます。⑧以降の部分に政府の宣伝文句を受けた人々がどう考えるかが述べられています。この部分からつながらず方や字数の条件に合うものを見つけましょう。

問九 **B1** 関係づけ

直前の部分に「多くの国民が尊重されているような気になり、

政府に対して」とあることに注目しましょう。政府が自分たち国民を尊重してくれていると感じているのであれば、国民は政府に対して良い印象を持つはずです。このことから、ウが正解となります。

問十 **B1** 関係づけ 置換

ぬけている文をもとにもどす問題です。ぬけている文と共通の話題をあつかっている部分を探し、ぬけている文自体とのつながりを確認しながら、もどす場所を探しましょう。また、自分が答えだと思つた部分にぬけている文をもどして読み、意味が通ることを必ず確認しておきましょう。

ぬけている文自体を読む際に「指示語」「接続語」への注目が大変重要になります。それらの情報をふまえ、やみくもに探すのではなく、ある程度話題をしぼりこんでから探すようにしましょう。

「それ」について「いけないことだろうか」と述べていることから、筆者が「一見悪いように見えるかもしれないが、実は悪くない」と考えている内容が、もどる場所の直前に書かれていることが予想されます。

問十一 **B1** 具体・抽象 比較

このような内容一致の問題では、選択肢の内容だけを読んで正誤を判断するのではなく、本文の内容と照らし合わせて正誤を判断するようにしましょう。ア「転職のタイミングをのがすようでは本末転倒」、イ「覚悟がきちんとしてきていないから」、エ「仕事中心の生活を送っている」とがそれぞれ誤っています。また、ウの内容は本文後半の内容と重なっています。

3

A1 知識

熟語の組み立てに関する問題です。熟語の組み立てについては、次のような種類があります。

- 1 上の字と下の字が似た意味になっている。
例 増加（増える／加える）、廣大（広い／大きい）など
- 2 上の字と下の字が対の意味になっている。
例 強弱（強い／弱い）、前後（前／後）など
- 3 上の字が主語、下の字が述語になっている。
例 自営（自らが営む）、県立（県が立てた）
- 4 上の字が下の字を修飾している。
例 白紙（白い紙）、大声（大きい声）
- 5 上の字が動作で、下の字がその対象となっている。
例 登山（山に登る）、辞職（職を辞める）
- 6 上の字が「不・無・非・未」で下の字を否定している。
例 無休（休みがない）、非礼（礼儀がなっていない）
- 7 下の字が「的・性・化」になっている。
例 美化（美しくなる）、劇的（まるで劇のような）など
- 8 長い単語を省略している。
例 農協（農業協同組合）、特急（特別急行）など

上の字と下の字の関係をとらえるためには、次のような手順が有効です。

- 1 一字ずつにわかる
 - 2 それぞれの字について「訓読み」「その字を用いた別の熟語」を考えてみる
 - 3 1・2をふまえて二つの字の関係を考える
- ふだんの漢字・語句学習においても、熟語を一字ずつにわけて訓読みや他の熟語を考えることで、意味を的確にとらえましょう。

4

A1 知識

対義語の問題です。「完備／不備」のように一字が共通している対義語もたくさんありますが、今回は共通する字を持たない対義語の組を出題しました。③で説明した熟語の組み立てを考えると、対の意味になるものを考えやすくなります。

- ① 延長（長く延ばす） ↓ 短縮（短く縮める）
- ② 快勝（快く勝つ） ↓ 完敗（完全に敗れる）
- ③ 好転（好ましく転じる） ↓ 悪化（悪くなる）
- ④ 共同（共に、同じ） ↓ 単独（ひとりで）
- ⑤ 病弱（弱く病気がち） ↓ 健康（すこやかである）

5

A1 知識

漢字の書き取りの問題です。

- ① 「穀」の字の「禾」部分を「木」としないよう注意しましょう。
- ② 「續」の字の「糸」部分を「禾」としないよう注意しましょう。
- ③ 「枝」は「葉」と組み合わせて「枝葉」という熟語を作り、「中心でない、細かい部分」という意味になります。これをふくむ「枝葉末節」という四字熟語も合わせて覚えておきましょう。
- ④ 「財」にみられるように、お金や財産、あるいはそれを使うことなどに関係する字に「貝」の字が使われる場合がよくあります。「買・貧・貨・買・買・費・買・資・貯」などは小学校で習う範囲の漢字です。合わせて覚えておきましょう。
- ⑤ 「密」をよく似た「蜜」と書き間違えないよう注意しましょう。どちらも漢字の上の部分が共通しており、読みも「ミツ」で共通しています。
- ⑥ 「憲」には「決まりやおきて」という意味があります。人名にもよく使われる字です。
- ⑦ 判断をする時の「基」本や標「準」となるもの、という意味の熟語です。
- ⑧ 多くの場合「節操の（が）ない」という形で、「強い意志がなく判断がころころと変わる」という意味を表します。
- ⑨ 送りがなを「なう」にしないように注意しましょう。この字を使った熟語には「補給・補欠・補完」などがあります。
- ⑩ 「きく」にはいくつかの同訓異字がありますが、薬の「効果がある」と考えれば「効く」がふさわしいことが納得できるでしょう。この他に「聞く」「利く」という同訓異字があります。